

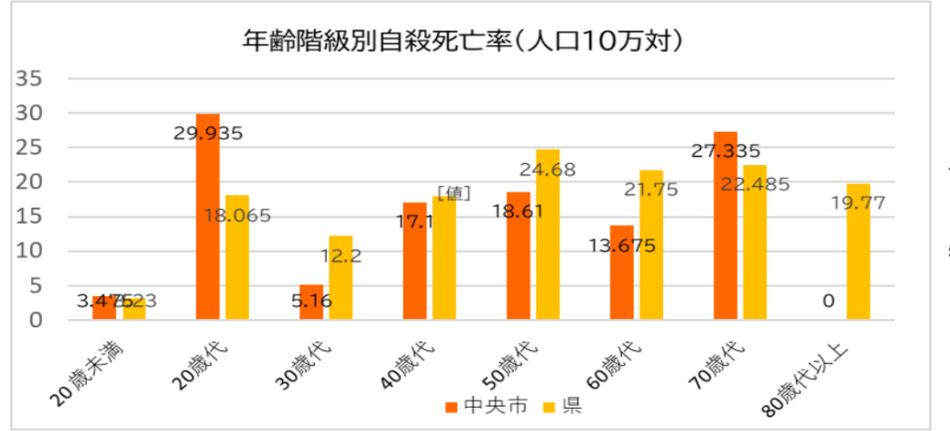
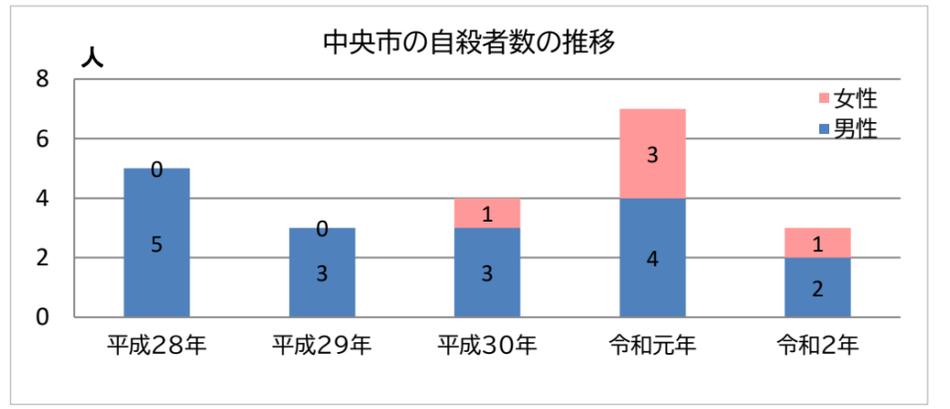
中央市自殺対策推進計画の概要

計画の趣旨

- ・国全体の自殺者数は3万人を下回っているものの、欧米の先進諸国に比べ、高い水準にある
- ・自殺は「追い込まれた末の死」ともいわれている
- ・誰も自殺においこまれることのない社会の実現を目指す

地域の状況

- ・近年7人以下で推移



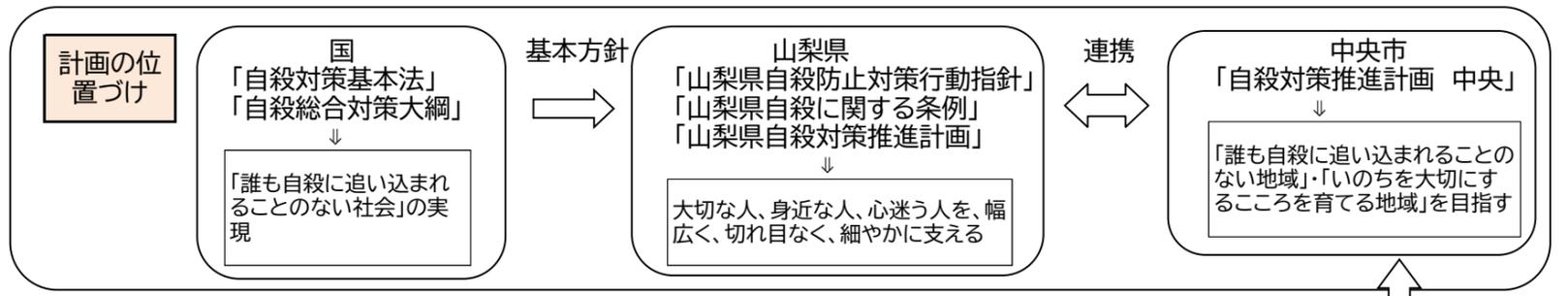
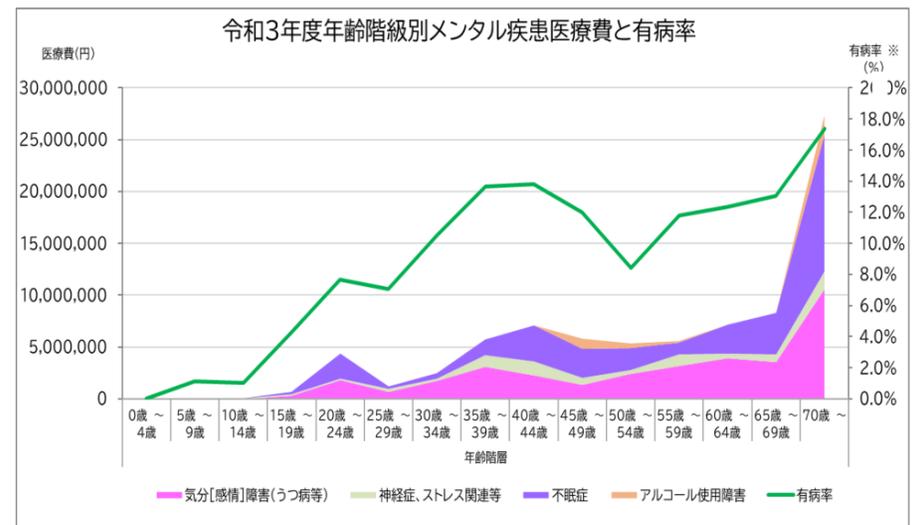
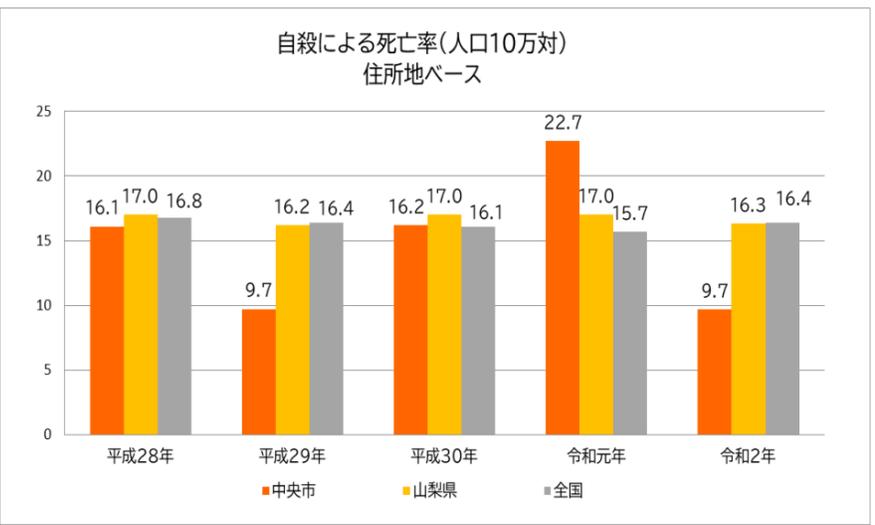
年代別自殺死亡率 (H28～R2の5年間の計)
20代、70代の比率が高く、特に20代は国・県に比べ高率

平成30年～令和4年度計画

めざす姿：
*自殺による死亡者の減少

具体的目標値：
*全ての年齢層において山梨県の死亡率より低い死亡率

評価：
*20歳代以下と70歳代の自殺死亡率は県より高く、目標は未達成



目標=めざす姿

自殺による死亡者の減少

数値目標

20歳代の自殺率の減少(人口10万対)
現状29.9人 → R9年 18人以下にする

基本施策

- 住民への啓発と周知
- 自殺対策を支える人材の確保
- 地域におけるネットワークの強化
- 生きることへの促進要因への支援
- 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

- 重点施**
- 女性や子ども・若者への対策
 - ハイリスク家庭への相談支援の充実
- 「生きることへの促進要因への支援」の関連施**
- 相談支援体制
 - 地域の見守りや地域のサポート体制